

法政大学大学院  
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 修士課程《外国人》	2026年度 秋季
日本語		

《解答又は解答例》

問1 空欄A：バイアス

空欄B：一般人の視点

問2 C：「所与」

「最初から与えられているもの」、「当然の前提として受け入れられていること」、「あらかじめあるものと見なされていること」など

D：「自明」

「説明しなくても明らかなこと」、「当然のこととして疑われないこと」、「言うまでもなく明らかなこと」など

問3 イ

問4 しかし（ないしは逆接の接続詞）

問5 論文形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。下線部(G)に述べられている、メディア自体の社会的立ち位置や信頼性がニュースの狭義の正確性より優先される事例をわかりやすく説明してください。

問6 論文形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。既存メディアに対する信頼性の低下は世界各国で起きている事象です。日本あるいは他国においてみられる実際の例を参照しつつ、それが政治にどのような影響を与えるのかを、学術的な日本語を用いて論理的に記述してください。

《出題の意図》

問1 前後の文章内容と選択肢の語句の意味を正しく理解できているかを確認する問題です。

問2 学術的文章で頻出する用語（所与・自明）の意味を把握しているかを確認する問題です。

問3 「メタジャーナリズム言説」については、当該部分以外でも繰り返し説明されています。それらの文意を正しく把握し、内容を理解できているかを確認する問題です。

問4 空欄が設定されている文章の論理構造（逆説）を正しく理解できているかを確認する問題です。

問5 文章内容を正しく理解し、その内容を敷衍して説明できているかを確認する問題です。

問6 政治や社会をテーマとする学術的な内容を、日本語で適切かつ正確に表現できるかを確認する問題です。